

イメージ表現

問題 与えられた図形から発想し一枚の絵を作成しなさい。
またその絵を文章にて説明しなさい。
2019年度入試より実施する新設試験です。

- 制作物**
- 図形を基にした絵
図形を印刷したB4サイズ画用紙に作画
 - 作文
描いた絵を説明する文章(B5サイズ用紙1枚、文字数指定なし)
※配布された用紙に収まる文字数にすること

時間 180分

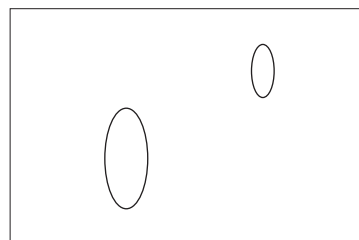
**評価
ポイント**

本試験の評価ポイントは与えられた図形からの「発想」と、その発想を伝える「表現力」、そして自らの表現をひとつの作品としてまとめ上げる「構成力」「世界観」です。解答用紙上に与えられた単純な図形を上手く組み込んだ絵を描き、別紙にそれを説明する文章を作成してください。ポイントはみなさんの人を「あっ」と言わせるような独創的な発想です。図形からの発想を絵と作文で自由に表現してみてください。

図形サンプル

下のような単純な形状の図形が出題されます
(あくまで一例です)

参考作品で用いた図形



その他、出題が考えられる図形例



「社会や家庭での抑圧を受けた一人の女性の心が怪物と化してしまった」という設定のもとにこの絵を描きました。画用紙に印刷されたふたつの楕円を見たとき、私は光の照射をイメージしました。ただの光だったら何も面白みがないのですが、もしその「光」が実は「闇」だとしたら?と考えると、ある女性の心のうちに潜む狂気的な世界を表現してみました。彼女は、夫からの暴力に苦しみ、悲惨な生活を耐え忍んできました。子どもがいるので離婚もできません。そんなある日、彼女の前に画面中央の怪物が現れました。最初のうちこそ怪物を怖がっていた彼女ですが、次第に怪物を手なずけるようになり、やがて怪物は彼女の守護者となります。怪物は彼女を縛りつけるものを破壊しはじめ、ついには夫や子どもまでもがなくなりました。しかし実際には、夫も子どもも彼女が殺めました。辛い現実から逃れるため、強力な向精神剤を長年にわたり服用して、とうとう気がふれたのです。彼女にだけ見えるその怪物は、自らの想念が生み出した幻です。もしこの絵をストーリーマンガに展開するとしたら、最後には彼女自身も怪物に殺されることになるでしょう。警察が自殺した彼女を発見するというラストシーンを迎えます。いま世の中には女性を苦しめる多くの社会問題があります。そのような状況が少しでも改善されれば、という気持ちから着想しました。

私はずっと、この夜の空に光る無数の星たちが、いつかは落ちてきてしまうのではないかと考えていた。だから、流星群が観測された夜は震えながら眠った。そんなことがあるはずない、心配しすぎだ、と周りは私のことを笑ったけれど、ある日の夜、本当に星が空から降ってきた。人びとが逃げ惑うなか、ひとり高い所に乗って、極彩色を放ちながら地上へと降りそそぐ星をずっと見ていた。気がつくと、私は天に手をのぼし、星をつかまえようとしていた。ずっと恐ろしいと思いつづけてきたものが、こんなにも美しい姿をしていることを、私は知らなかった。



冷めたコーヒー、まだ温かい座席、アイスティーの溶けた氷
エアコンの風に吹かれて時おりこちらを覗く野口英世
さよならの代わりに置き去りにされたペアで買った指輪
煙草の吸殻についた真っ赤な口紅の跡を僕はじっと見つめた
出会った当時いつも目を惹いた色はピンクだったろうか
相変わらず火の始末の下手な彼女が残っていったけむりは
古びたヒットソングの流れる店内にゆっくりと消えていった



最近、夜中に野菜畑に近づくと、不思議な歌声と音楽が聴こえるらしい。聞いた話では、夜ごと野菜畑の一隅で音楽会が開催されるそうだ。日が沈んで、辺りが静まると、野菜たちは楽器を取り出し、虹色の五線譜を見ながら演奏をはじめ。その調べに誘われて、演奏者の隣で歌いだす野菜がいるかと思えば、聴き手となって体を揺らす野花たちもいる。今宵の野菜畑では、大根さんが楽器を奏で、それに合わせてジャガイモさんが歌っている。野菜たちが扱う不思議な楽器は見もの。花のような形をした楽器を吹くと、ぱあっと光を放つ。面白そうでしょ！いつか一緒に野菜たちの音楽会を聴きに行こうよ！